

子どもを見つめるページ

リレーエッセー
大きくなあれ
Vol.25

結果より過程が大切

帰依龍照



「子育てって難しいさ〜ね」
私の寺に来られるご父兄の方々からよく聞かせていただくご意見。まったく同感。でもひよつとしたら、子育てより「親育て」の方が難しいかもしれない。
長男が小学校二年生の時、クラスメートから『ありがとうカード』を五枚もらって帰ってきた。「スゴいさ〜!」と喜びつつも、クラスで一番少ないと聞いてガツクリ。最高は、なんと二十七枚だそうである。
「カードの枚数ではないのよ。五人の友達から、ありがとうの気持ちでカードがもらえるなんて、とてもスゴいこと」
と妻。気を取り直してカードを読んでいた。息子は、どんなすばらしいことで友達から感謝されているのか?
「〇月〇日 ありがとう。あなたは、Mちゃんが給食の時にこぼしたみそ汁をぞうきんでふいてくれました!」う〜ん、我が子な

がらとても感動。(親バカではあるが)なんて優しい良い子なんだろう。どれどれ、次は…
「〇月〇日 ありがとう。あなたは、T君がこぼしたコーンスープをぞうきんでふいてくれました!」友達のお世話をさせていただくことは、とても良いことだ。学校でも頑張っているんだな。
「〇月〇日 Sちゃんの牛乳をぞうきんでふいてくれました!」ずいぶんぞうきんが好きなんだな。
「E君のこぼしたカレーをふいて…」あつ、あれ? こんなカードばかり。そう言えば担任の先生から「息子さんは、誰かがこぼさないか確認しながら食事していますよ」とお話があったような? ほほえましい光景ですよ、と言われてはいたが、

これは一大事。その日の夕食時、「食事中のぞうきんは、あまり感心しないと思うんだが、みんなどう思うかな?」との私の意見に、家族一同それぞれ遠慮なく発言した。
「お父さんが、良いことは自分から進んでやりなさい、無理をしないで、できることから始めなさいって言ったさ〜!」
長男の発言に、妻、二男、三男が拍手をする。
「ありがとうカードがもらえなくても、僕はやるよ!」
この長男の一言に、ハッと気づかされた。
『結果より過程が大切』カードの枚数やぞうきん(結果)にこだわらず、自分にできることから始めようとする長男の努力(過程)に気づかないとは…。考えてみると、テストの点数や偏差値、スポ

このコーナーは、日々子どもたちとかわる方のエッセーです。
〔執筆者〕
○帰依龍照(住職)
・宮城英雅(小児科医)
・平良辰浩(学童クラブ指導員)
・下地直也(保育士)
・真栄城栄子(くすぬち平和文化館 新里恒彦(ケルン苑)主管)
ご意見をはがきかファックス、Eメールで編集部までお寄せください

遊び場スケッチ
美浜でお買い物(北谷町)
オシャベリは
金城 千洋さん
(中城小学校六年生)

▲お気に入りのアクセサリを選んでいる 千洋さん・麻子さん

一番の思い出に
全島旅行
家族祭
み家族と
夏休みに
休出イ
休はサ
休はサ
休はサ

二学期になったから学校楽しくなってる。一学期よりもみんな仲良くなってるし、先生もとっても明るくなった。このまま小学校卒業したくないな、中学校にはまだ行きたくないな。

二学期の目標は「授業中におしゃべりしないこと」。先生にはまだばれてないんだけど、昨日見たテレビの話で盛り上がっている。仲良しの友達は、りょうこ、めーぐ、ちーな、あさこ、さあや。手紙交換したりV6の岡田くんの話とか、彼氏の話とかしてる。外で遊ぶことはあんまりないかも。おこづかいは毎月千円もらっているから。これで雑誌のMyojo(明星)を買ったり、おしゃべりしたり、北谷へ行ったり、洋服はお姉ちゃんが見てる雑誌を参考にしているかな。

将来は小学校の先生になりたい、明るくておもしろくて、教えるのがうまい先生を目指すぞ!

金城 千洋

1ツの勝ち負けに、ともすればとられ、そこに至るまでの過程の大切さを忘れがちな毎日。今一度『親育て』である。まさに『背負うた子に 教えられ』た、我が家のある日のエピソードから。
(コザ真宗寺 旧コザ本願寺・住職)